

2011年2月15日

**【格付変更】****地域金融機関平成19年6月CLO メザニン受益権：AA+ → AAA****地域金融機関平成19年9月CLO メザニン受益権：AA → AAA****地域金融機関平成20年3月CLO メザニン受益権：AA → AAA**

格付投資情報センター（R&I）は上記の格付を公表しました。

**【格付理由】**

当該3案件は日本政策金融公庫（以下政策公庫）がアレンジした、中小企業向け貸付債権の流動化案件である。

これらの案件については、信託期間が経過し残存年数および1件当たりの貸付金額が徐々に減少している。またスキームの特性上、格付対象の優先受益権、メザニン受益権の下位トランチであるシニア劣後受益権の償還が停止しており、信託勘定内に現預金が留保されているなど期間の経過に従って劣後比率が上昇している。

よって、各案件とも優先受益権ないしメザニン受益権について最大債務者のカバー率などが向上していることから、上記格付対象の格上げを行った。なお、各案件とも2010年11月29日に続いての格上げとなる。

平成19年6月CLO案件は、発行日（2007年6月28日）から2010年12月20日までの期間（計算期間）における裏付資産の累積デフォルト率は約5.72%であり、計算期間末日時点で長期延滞が20件発生している。長期延滞および延滞債権がデフォルトした場合の累積デフォルト率は約8.30%である。

本件は2010年11月29日に優先受益権をAA+からAAA、メザニン受益権をAAからAA+へと格上げした。直近のパフォーマンスを反映し、メザニン受益権をAA+からAAAへ格上げした。

平成19年9月CLO案件は、発行日（2007年9月26日）から2010年12月20日までの期間（計算期間）における裏付資産の累積デフォルト率は約4.61%であり、計算期間末日時点で長期延滞が8件発生している。長期延滞および延滞債権がデフォルトした場合の累積デフォルト率は約7.19%である。

本件は2010年11月29日に優先受益権をAAからAAA、メザニン受益権をA+からAAへと格上げした。直近のパフォーマンスを反映し、メザニン受益権をAAからAAAへ格上げした。

平成20年3月CLO案件は、発行日（2008年3月25日）から2010年12月20日までの期間（計算期間）における裏付資産の累積デフォルト率は約5.63%である。計算期間末日時点で長期延滞が4件、延滞が4件発生している。長期延滞および延滞債権がデフォルトした場合の累積デフォルト率は約8.36%である。

本件は2010年11月29日に優先受益権をAA+からAAA、メザニン受益権をAからAAへと格上げした。直近のパフォーマンスを反映し、メザニン受益権をAAからAAAへ格上げした。

一部の案件で延滞債権の件数が増加しているなど、国内の中小企業を取り巻く事業環境は、依然として不透明感が拭いきれない面がある。R&Iでは今後も引き続きこれら案件について、残存期間、最大債務者カバー率や信託の留保金などを踏まえ、格付を検討していきたい。

## 【格付対象】

名 称	格 付
地域金融機関平成 19 年 6 月 CLO メザニン受益権	AA+ → AAA
地域金融機関平成 19 年 9 月 CLO メザニン受益権	AA → AAA
地域金融機関平成 20 年 3 月 CLO メザニン受益権	AA → AAA

## 【格付方法】

格付対象の評価において、R&I は主に以下の格付方法を用いました。

	項目
2010 年 9 月	第 1 章 総論
2010 年 10 月	第 2 章 各論 仕組みに関するリスク
2010 年 9 月	第 3 章 各論 裏付資産に関するリスク 第 6 節 一般貸付債権
2010 年 9 月	第 4 章 各論 キャッシュフローリスク 第 1 節 金銭債権等に関する分析方法 (大数アプローチ)
2010 年 9 月	第 5 章 各論 モニタリング 第 2 節 大数アプローチのモニタリング

上記の格付方法は以下のホームページに公開されています。

<http://www.r-i.co.jp/jpn/sf/about/methodology/index.html>

## 【信用格付業者】

株式会社格付投資情報センター 金融庁長官 (格付) 第 6 号